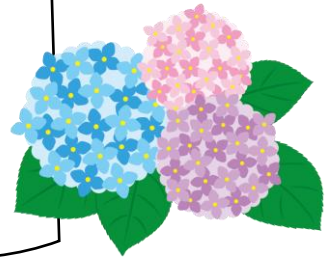


事務局連絡

(令和5年6月23日配信)



■8月20日に、第1回幹事会を開催します。 多数の参加をお願いいたします。

- 場 所 : 福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)

5階 502・503 研修室

福岡市中央区荒戸 3-3-39 電話:092-731-2929

- 議 題 : ① 組織推進月間の取り組みについて
② 高齢化対策について 他

■第211回国会に提出した第52次国会請願署名 (腎疾患総合対策の早期確立に関する請願)が 2023年6月21日付にて衆議院、参議院ともに 採択され、内閣に送付されたことを報告します。

署名活動にご尽力いただきましたことに、改めてお礼申し上げます。

■国会にて臓器移植の実施状況が報告される

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2020(令和2)年度は大幅に減少した臓器提供件数でしたが、22年度は感染症拡大前の件数なみに回復し、とりわけ脳死による件数は、医療提供体制の確保等により過去最多になったことがわかりました。

また、同報告書では、本年2月に臓器移植を無許可であっせんしたとしてNPO法人理事が起訴された事件を受け、海外へ渡航し移植を受けた患者の実

態調査を行った結果についても触れ、厚生労働省は、国内で臓器提供や移植がより進むよう、引き続き周知啓発や体制強化に取り組むとしています。

■2025年の次期年金制度改正へ向けた議論が厚生労働省の審議会(年金部会)でスタートしています。

国民年金(基礎年金)の給付水準を引き上げるため、被用者保険の範囲拡大や保険料納付期間の40年から45年への延長などが検討される見通しです。

制度改正に向けた主な検討事項案には、障害年金も上がっているようです。詳細がわかったらお知らせします。

■学習会のご案内

参加対象者は 福腎協会員と家族、医療スタッフです。

学習会へ参加できるのは会員の特権です。このチャンスにぜひご参加を！

【北九州地区】

日時：7月23日(日) 午前10時～11時30分

場所：ウエル戸畑 12階 121・122会議室

北九州市戸畑区汐井町1-6 電話 093-871-7200

演題：「大動脈弁狭窄症って？」

講師：小倉記念病院 循環器内科部長 白井伸一先生

【福岡地区】

日時：8月27日(日) 午前10時～11時30分

場所：福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ) 5階 502・503研修室

福岡市中央区荒戸 3-3-39 電話:092-731-2929

演題：「長時間透析の歴史と今 ～透析について考える」

講師：天神オーバーナイト透析クリニック 理事長・院長 前田利朗先生

■50周年大会報告

・大会経費は、予算内の支出で終わりましたことを報告いたします。



表彰式の様子

★参加者から感想をたくさんいただきました。ありがとうございます。
一部ご紹介します。

【50周年記念講演会 金井先生の感想】

- ・大変すばらしい講演でした。我々透析患者にとってこれからの希望をいただけることに感謝します。大変有意義でした。頑張ろうという気になりました。
- ・金井先生のお話を楽しみにしていました。慢性腎臓病、腎不全患者は安静が一番、リハビリは歩くことといろいろお話を聞いて勉強になった。
- ・ここまで情熱のある先生がいてくださったことに感動しました。今一番気になっていた災害対策への備えに取り組んでいただけていることに安心しました。日ごろからの自己管理も頑張りたいと思います。
- ・元気な金井先生のお話を聞いてとても頼もしく思いました。各分野の方々と連携を取ってくださっているのがうれしいです。福岡県に住んでいてよかったです。

【透析の先生方のジャズバンド演奏の感想】

- ・医師仲間が集って演奏活動をしていることは素晴らしいです。とてもよかったです。元気になりました。サイコーです。また聞きたいです
- ・すばらしいの一言に尽きる。久しぶりに生の演奏を聴かせて見せてもらい、最高の幸せでした。感謝！感動！テキーラ！
- ・隈先生、有吉先生のエネルギッシュな演奏に感動しました。音楽は心をつにします。
- ・心が癒されました。20代のころの曲が聞こえて懐かしくジャズの素晴らしさが、懐かしい過去を思い出させました。

【感謝のセレモニー「表彰式」の感想】

- ・ 藤見先生への花束贈呈者が、小さい頃から透析されていた藤見先生の患者さんの子供さんという演出は大変感動的に感じた。この大会はたぶん一生忘れられないものになると思う。
- ・ 藤見先生のお話胸にしみました。感動しました。
- ・ 表彰についての工夫(個別に)よかった。50年の流れが良く理解できた。

【その他】

- ・ 企画、準備が大変だったことと思います。いろいろな場面でご苦勞と良い大会にしようという思いが伝わりました。
- ・ スタッフの動きが良かったです。CKD 看護研究会の皆様ありがとうございました。
- ・ 福腎協と病院のつながりがとても強いと感じました。うちの病院ももっと連携が強まればよいと思いました。コロナも終息してこのような会が今後できればと思います。
- ・ 全国に先立ち会員に分かりやすい活動を続けてください。今後ともよろしく。
- ・ 私が生まれたころは、透析＝死が近い(長生きできない)時代で、ドクターからも親からもしっかり管理しないと「死ぬよ」とずっと言われていました。結局透析人生となり、24年。元気です。これも先人の先輩方すべての皆様のおかげあってとしみじみ。微力ですが、私も生きる人々のため、福腎協の活動の力になればと思います。

司会の林田スマさんからも

メッセージをいただきました。

- ・ 会報誌も読ませていただきました。
- 大会では命の重み、ぬくもりを体感させていただきました。感謝申し上げます

